

# 空とぶほうき

創刊号

平成27年7月19日

## 創業者からのご挨拶

1955年「昭和30年」4月1日。私、24歳で富山市五福の富山大学正門前に薬局を開局いたしました。お陰様で西尾薬局は今年でちょうど60年という大きな節目を迎えることができました。改めてその60年の歴史と道のりをただ今かみしめております。また、今年には戦後70年目となります。その間激動する政治経済そして社会情勢の歴史の中で翻弄されつつも多くの皆様にご支援をたまわり今日の西尾薬局に至るドラマが作られてまいりました。その後も薬局を取り巻く環境は時代の変革にともなってめまぐるしく変化をしており、これをのりきるには、適応能力を磨き更なる努力を続けていくことと考えております。国は「かかりつけ薬局」の存在をこれからの薬局と位置づけ、医療の一員として社会に貢献することを方針としてすすめておりますが、これに沿うべくお役に立てるように努力したいと願っております。これまでのご厚情に深く感謝申し上げます、今後とも更に変わらぬご支援をたまわりますようお願い申し上げますご挨拶といたします。



西尾常信

60周年を機に西尾薬局から情報誌を発刊することとなりました。タイトルは『空とぶほうき』 そうです、魔女のほうきです。魔女というとなんとなく怖いイメージがありますが、本当は森の中に住み、人々の体質や症状にあった薬草でくすりを調合していた女性のことをいいます。ハーブで作られていたといわれるほうきに乗せて年に4回皆様に西尾薬局から「読むくすり」をお届けします。

医療の進歩はめざましく、多くの新薬が生まれ様々な病気が治るようになりました。その一方で、生活習慣病のようにセルフメディケーションが必要な病気の人が増えています。自分の身体のバランスを自分で整え、生き生きとした生活を過ごすために役立てていただければ幸いです。西尾茂美 記



## 60周年を迎えて

本年4月、西尾薬局は創業60周年を迎えることができました。人の一生に例えれば、還暦を迎えたこととなります。これもひとえに、長年にわたり支えていただいたお客様、会社のスタッフのおかげと感謝しております。

戦後10年が経た昭和30年、西尾薬局はオープンしました。まだ物資が豊かではない頃ではありましたが、その後の経済復興とともに地域のご要望に応えながら、住民の方々の健康・美容・衛生にお役に立てるよう営業して参りました。

当時は、医薬品はもちろん化粧品・雑貨や食品までも取り揃える、まさに地域に密着した薬局でした。しかしながら、時代の変革・消費行動の変化とともに、店舗のスタイルや商業立地も大きく変わり、大型ショッピングセンターやドラッグストアの出店が増え、私もその時代にあった店舗スタイルで出店して来ました。そしていよいよ医薬分業の時代を迎え、処方箋受付業務が次第に薬局業務の中心となり、以前の薬局とは違った様相を呈してきております。

そのような中であって、西尾薬局は自然療法の考えに立ったアドバイスも継続して行いながら、率先してアロマテラピーやメディカルハーブの普及に尽力して参りました。

これから、ますます社会が複雑化し生活環境も激変するなかで、「こころの健康、からだの健康」をモットーにさらに皆様のお役に立てるよう地域の信頼される「かかりつけ薬局」をめざしてまいります。今後ともよろしく願いいたします。



株式会社 オルタナ 代表取締役

西尾公秀



# 西尾薬局創業から60年の歴史

## 西尾薬局創業以前の話

地主であった恒太郎(創業者の父)が借金の形に配置薬の帳面を受け継ぎ始めたのが西尾家と薬業の始まりだった。当初は、新潟、山形、秋田まで販売エリアを拡げ、富山の薬売りとして東北中心に売り歩いていた。“西尾月一堂薬房”として自宅で薬の製造もしており、外用薬「マモル」という大人気商品もあった。しかし、規制が厳しくなり日本では薬の製造許可をとるのが難しくなってきた。そこで、販売ルートを国内から朝鮮へと変え、規制の緩かった朝鮮総督府で製造業の許可をとった。今の舞鶴から船に乗り清津港まで行き、そこから汽車で釜山へ。朝鮮全土の日本人に薬を売り歩いた。朝鮮ではなかなか薬を買えない時代だったので、喜ばれよく売れた。恒太郎は儲けたお金を、発展していく朝鮮の会社にほとんど投資した。昭和19年。戦争の前の年、先に出た船が爆撃にあったので、皆、怖がって行くのをやめた。薬を先に送ってしまった後だったが、断念せざるを得なかった。終戦後、配置業と朝鮮の会社の株を全て失っただけでなく、戦争で息子二人を亡くした。もう、少しの気力も残っていなかった。生活のために倉庫にあった薬の原料を少しずつ売った。5年かけて、すべての原料を売りつくした。精根尽き果てその5年間は何もできなかった。その後、農地解放で土地もなくなった。生きるために気力を振り絞り、京都の売薬の帳面を買って、また配置業を始めた。三男の常信(創業者)は富山薬専に通った。その後、製薬会社に頼んで、西尾高級かぜ薬を作った。常信が発案した風邪薬の「明星」を主体とし、パンフレットを配って売った。また、薬でやって行こうと思った矢先、健康保険制度が出来た。配置業は先が望めないと思った。時を同じくして、常信が肺炎にかかり売り歩く配置業は無理だとドクターストップがかかった万事休すか…。常信は言う「変わった親父でねぇ 度胸のある人だった。配置業が出来ないんだったら、西尾薬局(店舗販売)でもやるか。わしは店舗販売などわからんから、お前に任せる。とって売薬の帳面を売ったお金をすべて店に投資して自分は引退した。そして私が“西尾薬局”をはじめたんだ。」

昭和31年  
富山県初の  
ドラッグストア



西尾本店開局記念(昭和20年)

昭和30

昭和48

昭和57

昭和58

平成3

平成6

平成9

平成10.9

平成11.3

平成13

平成16.10

平成23.4

平成26.12

平成27.1

西尾薬局創業

西尾薬局五福(ニザ)店開局  
(平成9年閉局)



本格的なドラッグストア  
五福プラザ店  
(社長と幼少の頃の長女)

ハーブファーマシー(後の西尾薬局ハロー店)開局  
(平成16年閉局)

西尾薬局本店を漢方相談薬局にリニューアル  
(平成2年閉局)

西尾薬局パレ店開局  
(平成12年閉店)

薬局フローラメディカ(二)店オープン

薬局メディック下堀店開局  
(現 西尾薬局下堀店)

西尾薬局婦中店開局

フローラメディカアリス内に移転

薬局メディック上飯野店開局  
(平成23年4月閉局)

西尾薬局開局(平成26年閉局)  
フローラメディカ五福に新築移転

西尾薬局上飯野店開局

西尾薬局富崎店開局

株式会社オルタナへ商号変更

富山県初の  
アロマショップ

富山県初の  
ドライブスルー  
薬局

## 創業当時は…

今から60年前。富山大学正門前(現在の北陸銀行があるあたり)に元々あった食料品店と文房具屋を買収し、西尾薬局・西尾菓子店・西尾文房具店の3つの看板を掲げてオープンしたのが西尾薬局の始まり。

オープン当初から3つの看板が示すように薬だけでなく、お菓子の量り売りや生活雑貨を取り扱っていた。その頃はまだ専門店が多く、一つの店舗でいろいろなものを売る店はほとんどなかった。1年後店舗を拡張し富山県で初となるドラッグストアをオープンし、化粧品(カネボウ・資生堂)の販売を始める。その後、カメラ屋として写真を現像していた時期もあった。

当時は調剤なんてしない時代だったが、調剤室を作り、薬局製剤の許可を使い40種類程の決まった処方薬を作り西尾感冒薬〇〇号という名前で販売していた。当時の五福は田んぼばかりで店が少なかったため、便利になったと喜ばれた。

従業員も最初は創業者と妻の他、2名だったが、最盛期には5、6人の従業員がいた。



下堀店

## 処方箋調剤薬局

個性豊かなベテランスタッフが勢ぞろい！  
何でもご相談下さい。  
あなたに笑顔をお届けします♪



婦中店

## 処方箋調剤薬局

広域処方箋も多く、新薬を調剤することも多いため、頻繁にお昼休みを利用して勉強会を行っているとても熱心な店舗。  
在宅医療にも積極的に取り組みグループホーム2施設の調剤もしています。



フローラメディカ店

## 薬局

美と健康と癒しのお店。  
一般医薬品をはじめ、アロマセラピー、ハーブ、化粧品の販売。各種教室の開催。漢方や栄養相談。ベビービクスなど幅広く、統合医療の発展をめざし、スタッフ一丸となって邁進中！



上飯野店

## 処方箋調剤薬局

小児科の門前薬局であることから、アレルギー食品、ベビービクスなどに力をいれています。お子様の薬のことなら、お任せ下さい！



富崎店

## 処方箋調剤薬局

西尾薬局で一番新しいフレッシュな店舗。地域密着型のお店として野菜の種まで販売中！





# 1日100円の真の健康法!

からだ作りの基本です

からだの調子をくずした時に初めて健康である事  
ありがたさ、身体づくりの大切さを感じる方は  
多いと思います。

でも、身体が悲鳴をあげないように毎日の身体  
の調子を整えてあげる事、それが本当の

身体づくりであり、健康である為に必要な事だと  
分かっている方は、まだ少ないようです。

健康でいられるための  
身体づくり……

あなたも始めてみませんか?

『若甦錠S』は疲れをとるだけではなく

身体の『冷え』もとり

『免疫力』もあげてくれるのです。

健康のための身体づくりにとっても

おススメです。



じゃっこうじょうえす  
若甦錠S

480錠 ¥11,000+税(4ヵ月分)

240錠 ¥6,500+税(2ヵ月分)

若甦は自律神経を  
高めてくれます  
自律神経の働きが悪くなると  
頭痛・めまい・肩こり・動悸  
息切れ・冷え性・不眠・イライラ  
不安・胃もたれ・食欲不振・便秘  
下痢など様々な症状が出ます。  
これらは病院で検査を受けても  
異常が認められません。  
なに様な体調不良が不規則に  
起るので「不定愁訴」とも  
言われます。若甦はこんな症状を  
改善するSです。  
家族の健康の為に!

## スタッフの声

若甦シリーズファンがたくさんいます!!

体調がすぐれないけれど休めない時、旅行など  
楽しみたい事がある時、若甦を飲むと回復が早く  
疲れ知らず!また、自分の生活スタイルに合わせて  
色々なタイプの若甦を選べることも  
おすすめです! (上飯野店 30代男性)

若甦は子供の頃から風邪のひきはじめに飲んで  
いました。液は体が温まり、錠剤は飲みやすく、  
単価も安いのでどちらもオススメです。  
冷え性や身体のだるさが改善され、  
心も元気になりました。(婦中店 20代女性)

疲れやすい人にお勧めしたい1本! 体調不良  
や疲れた時に若甦を飲むと体がポカポカと温まります。  
特に年末年始や連休明けの忙しい時期には欠かせません。  
そのままでも飲みやすいですがお湯割りは最高です。  
(富崎店 30代女性)

- ドリンク嫌いな私でも飲みやすく、  
美味しく飲むことが出来た。(下堀店 40代女性)
- 風邪をひいた時に服用したら、  
解熱・喉の痛みがおさまった。(下堀店 50代女性)
- インペリアルは特に寒い冬に体が温まり、元気が  
出る。即効性に優れている。(下堀店 60代女性)

若甦Sを飲み始めて1年くらい続けた頃、  
年に何度もひいていた風邪をひきにくく  
なったことに気づきました。そして、  
「なんだか調子がいいな♪」と思う日が増え  
ました。特に寝起きの身体が軽く1日元氣  
に過ごせるので、若甦Sは手放せません。  
(メディカ店 20代女性)

発行

株式会社 オルタナ  
〒930-2237 富山市打出 834  
Tel.076-442-2380